| 科目名 | | | 担当教員 | |
|---|---|---|---|---|
| 紛争解決の心理学 | | | 山口　奈緒美 | |
| 科目コード | 単位数 | スクーリング単位 | 履修方法 | 配当年次 |
| FC3566 | 1 | 1 | S（講義） | 2年以上 |
| 生成 AI 利用レベル | | 試験（スクーリング含む）　：　C | | |

※この科目の会場スクーリングは 3 年ごとの開講予定です。2026 年度の次は 2029 年度開講予定。
※オンデマンド・スクーリングは 2027・2028 年度開講予定です。

## 科目の概要

### ■科目の内容

葛藤は対人間から国家間まで、さまざまなレベルでみられる現象です。この現象はどうして生じるのか、その解決を妨げる要因は何なのかについて、社会心理学的観点から考察します。人々はしばしば不合理な認知や信念にとらわれ、自ら建設的解決の道を閉ざしてしまうことがあります。講義では、このような認知や信念を詳述し、葛藤とその解決に関する人々の心理を学びます。

### ■到達目標

１）対人葛藤や紛争の種類を分けて説明することができる。
２）対人葛藤や紛争の発生の背景にある人々の心理的メカニズムを説明することができる。
３）対人葛藤や紛争のよりよい解決について、自分なりに論じることができる。

### ■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人間理解力」「主体的協働力」を身につけてほしい。

### ■教科書・参考図書

**【教科書】**

**（スクーリング時の教科書）**スクーリングにあたって教科書は使用しません。※配本はありません。

### ■スクーリング講義内容

| 回数 | テーマ | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 社会的葛藤の分類と解決 | 社会的葛藤の分類を通して葛藤の様々な形について論じる |
| 2 | 社会的葛藤解決の心理的障壁（1） | 葛藤時の認知機能の特徴と認知の歪みについて概説する |
| 3 | 社会的葛藤解決の心理的障壁（2） | 葛藤相手や、その行動に関する認知や評価の歪みについて概説する |
| 4 | 認知バイアスの背後にあるもの（1） | 人間の認知特性と葛藤関連の歪んだ信念について説明する |
| 5 | 認知バイアスの背後にあるもの（2） | 葛藤経験を解釈する際に用いられる葛藤スキーマや、それに関連する欲求、それに自尊心がどう影響を与えるかを概説する |
| 6 | 社会的葛藤解決の心理社会プロセス（1） | 葛藤解決時の動機づけと認知的スキルについて論じる |

| | | |
|---|---|---|
| 7 | 社会的葛藤解決の心理社会プロセス（2） | 葛藤解決における寛容について論じる |
| 8 | 社会的葛藤と人間関係 | 人間関係と葛藤原因の関連を探り、愛着スタイルやアタッチメント・プライミングが社会的葛藤に与える影響を論じる |
| 9 | スクーリング試験 | |

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

**■講義の進め方**

講義はパワーポイントを用いて進めます。受講者には講義で用いるスライドにもとづいて作成された資料を配付します。この資料は、受講者が適宜工夫して記入し、受講者オリジナルのノートとして作成しやすいように作られています。

**■スクーリング　評価基準**

スクーリング試験 100%（持込可、選択問題と論述問題）

**■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）**

「人と人の間で生じているいざこざ」（対人葛藤）や「集団と集団の間で生じているいざこざ」（集団間葛藤）に関する事例をたくさん集めてみてください。自分が直接的に経験したことに限らず、見聞きした事例や、ニュースで知った事例でも構いません。どういういざこざだったのか、簡単に書き留めておいてください。

**■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）**

事前学習で書き留めたいざこざについて、スクーリングで学んだことを生かして再解釈してみましょう。そのいざこざの葛藤争点は何か、類型に当てはめるとするならどの葛藤類型なのか、当事者のどちらにどのようなバイアスが強く働いているのか、など、様々な視点から葛藤を見つめなおし、自分なりの解決策を見つけてください。